

常磐高等学校 平成27年度 学校重点目標並びに自己評価表

(計画段階 ・ 実施段階)

学 校 運 営 計 画				評価(3月)	
学校運営方針	本校では、知育、徳育、体育の三位一体を基盤として、至誠の心を育み、自由清新な気風で、心豊かな行動力のある社会有為の人材を養成する。			B	
昨年度の成果と課題	本 年 度 重 点 目 標	具 体 的 目 標			
生徒指導を基盤に教科指導と進路指導の基本的教育活動が実践された。その中で、生徒会を中心とした学校行事も積極的に推進され、部活動入部率が向上した。また、情報検定試験上級合格者数も増加した。挨拶や清掃が自主的にできるように自立心を高める指導を徹底する。また、家庭学習を習慣化して、意欲的に授業へ参加するように授業内容を充実させる。さらに、教育方法を改善して幅広い学力層に対応して、個々の進路を確実に決定する。	基本的生活習慣を確立させ、「思いやりの心」を持つ生徒を育てる。	時間厳守・挨拶励行・整理整頓を推進するとともに、規範意識の高揚を図る。 各種行事の充実を図り、全生徒の連帯感を高める。			
	「大学入試新テスト」に対応できる基礎学力の確立に努める。	大学入試新テストを研修・研究して、新テストに対応できる学力を習得させる。 家庭学習を習慣化させて、予習・授業・復習の学習サイクルを確立させる。			
	計画的・組織的な進路指導を実践し、希望進路の実現に努める。	生徒個々の実態把握と適切な進路指導を実践する。 1ランク上の進路目標を設定し、実現に努める。			
	安全で快適な学習環境の整備し、心身ともに健全な生徒を育てる。	教育活動全体を通して心身の健康を保持するとともに推進を図る。 自主的な清掃活動によって清潔な学習環境を保持する。			
	具 体 的 目 標	具 体 的 方 策	評価(3月)		次年度の主な課題
学習指導	教科指導力の向上	・「授業シート」を組織的に取り組み、効果的な参観授業や研究授業を実践する。 ・「高等学校基礎学力テスト」「大学入学希望者学力評価テスト」に対応する授業を研究する。	A	A	B
	学習意欲の向上	・定期的に生活実態アンケート調査を実施して、「授業満足度」100%を目指す。 ・規律ある授業を基盤にして、予習・授業・復習の「学習サイクル」を確立させる。	B	B	
進路指導	進路学習の充実	・「進路マニュアル」を有効に活用して、生徒一人ひとりにきめ細かい進路指導を実践する。 ・各種資格、検定の上級取得を目指し、「日本情報処理検定協会会長賞」受賞数で全国1位を目指す。	B	B	B
	希望進路の実現	・「難関国立10大学」を含む国公立大学20人、西南大10人、福岡大20人以上合格させる。 ・各教科・科目の「大学センター試験校内平均点」が全国平均点を上回るようにする。	C	C	
生徒指導	規範意識の向上	・「組織的な登下校指導」を行ない、生徒のモラル・マナーの意識を向上させる。 ・薬物乱用防止や非行防止等の「保健講話」を実施して、健康教育の充実を図る。	B	B	B
	生徒会活動の活性化	・70%以上の「校友会入部率」目指し、強化校友会を中心に県大会、九州大会、全国大会出場を目指す。 ・生徒会が「挨拶運動」や「清掃活動」を主体的に行ない、学校行事の企画・運営にも取り組む。	C	B	
その他	人権・同和教育の充実	・年2回の「特設授業」の充実を図るとともに、全教育活動を通じた人権教育を一層充実させる。 ・「教育相談」によるカウンセリングを充実させ、進路変更生徒の減少に努める。	A	B	B
	広報活動の充実	・「学校行事の記録・保存」を徹底して、ホームページを積極的に更新する。 ・推薦入試受験生100名、一般入試受験生1300名、入学者280名を目指す。	A	B	

教員全体で「授業シート」の取り組みができたが、手立ての有効性を継続的に活用させる。「授業満足度」は85.7%、次年度の向上に努めるとともにアクティブラーニング等の導入を含め、授業改善の取り組みを推進する。

AO・推薦入試からセンター・二次私大入試まで進路指導部を中心に組織的に取り組んだが、目標達成には至らなかった。更なる組織的対応の強化が必要である。情報検定試験では更に上級資格と会長特別賞を目指す。

登下校指導と校外清掃活動を定期的に実施できた。更にモラル・マナー指導を徹底する。部活入部率は63.7%。生徒会を中心の「美化コンクール」は継続的に実施できた。「挨拶運動」も同様に取り組む。

人権教育特設授業を充実させて、「相手の立場に立った言動」ができる指導を実践する。積極的な教育相談で進路変更生徒の減少に努める。幅広い広報活動を継続して目標を達成する。